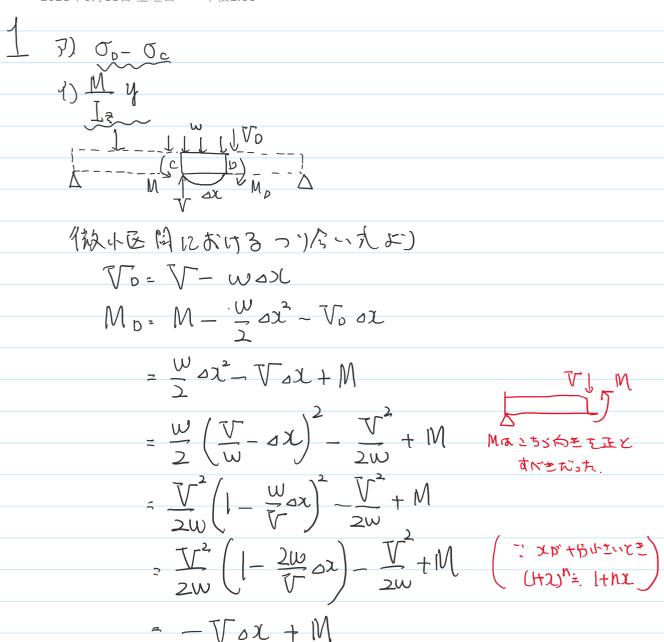
## 構造力学1

2021年6月11日 金曜日 午後2:33



When 
$$M_D y = \frac{M - V_D x}{I_Z} y$$
 Phien who was  $M_T = \frac{M + DM}{I_Z}$ 

The standard of the

(I) 
$$V = -\frac{dM}{dX}$$
 EANSY. OPEER CANGE

 $dH = \frac{Vox}{Iz} \int_{A} Y dA$ 
 $V = \frac{dM}{AX}$ 
 $V = \frac{dM}{AX}$ 

= 1.05 × 108 (N/m²)

= 
$$1.05 \times 10^8 (N/m^2)$$
  
=  $105 MPa$ 

$$7a = \frac{V\Theta}{I_{2}t} = \frac{15 \times 10^{3} (N) \times 1.90 \times 10^{-4} (m^{3})}{3.86 \times 10^{-5} (m^{4}) \times 5 \times 10^{-3} (m)}$$

$$= 7.38 \times 10^{7} (N/m^{2})$$

$$= 73.8 M/a$$

(2) 13.8 + 13.8 + 10.5

73.8

モールの応り円において

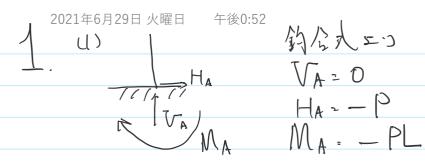
Omax = 52.5+90.57 = 143 MPa Tmax = 90.57 MPa

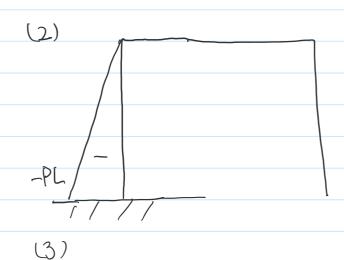
(3) 点しは 直応力がるたで、せん断応力が定である。 I型 断面において せん断応力は ほとんど ウェブが多け村、ており、一方で 直応力はフランジの 核合卵 は 主応力、 主 せんばんた カ ともに 大きい ため 注意する 込 子がある。

01

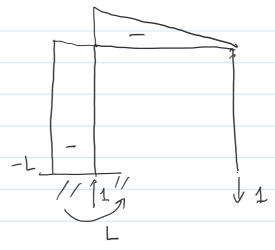
培な望ではせん断応から布が不遅続であるため、たか年中となっていることに盆意する。

## 構造力学2





员時計回り飞压好る



次のようにして下のき単位存金を作用させていまの曲げモーメントは、
左回の温り。

学位符单注
$$W = \sum_{EI} M \overline{M} = \int_{0}^{L} \frac{(-PL + Px)(-1)}{E_{0}I_{0}} dx$$

$$= \int_{0}^{L} \frac{PL^{2} - PLx}{E_{0}I_{0}} dx$$

$$= \left[ \frac{PL^{2}x - \frac{1}{2}PLx^{2}}{E_{0}I_{0}} \right]_{0}^{L}$$

$$= \frac{PL^{3}}{E_{0}I_{0}}$$

2 U) 郭林 农 3 → ¬りない大 9. 及力数 4 つ 1 → 未知及 10

不静定次数 1

(3) D に 下のき半位所生が作用しれてきの変化は 
$$2 \frac{MM}{EL} + 2 \frac{NN}{EL} = \frac{1}{3} \frac{1}{2} \frac{1}$$

重わなわせの厚理を用いる

$$D$$
の 年色 変化 せのより
$$\frac{PL^2}{2E_0 I_0} - R_0 \left( \frac{4L^2}{3E_0 I_0} + \frac{2L}{E_0 A_0} \right) = 0$$